

特集 平成21年度事業報告

もっと社協を知っちゃろう！

ここに掲載している内容は全事業の一部です。全事業及び詳細については、各事務所にて事業報告書を閲覧することができますので、ご参照ください。

I 会議の開催状況

会議の開催

組織運営のため、理事会・評議員会等の役員会と、事業推進のための委員会などを年間43回開催。

II 会員募集・寄附金の状況

〔会員募集〕…	107,661世帯	36,622,550円
〔篤志寄附〕…	72件	2,439,415円
〔香典寄附〕…	405件	11,288,000円
〔物品寄附〕…	8件	1,095,650円相当

III 地域福祉活動の推進

① 地区社会福祉協議会の設立

地域の各種機関・団体やボランティアなどによって構成され、「福祉のまちづくり」を推進する住民組織として設立を進めています。新設3か所（計38か所）設立。

② 福祉協力委員活動

見守り・声かけ活動、社協だよりの配布、会員募集、共同募金運動等への協力を依頼。1,134人(玉島、船穂、真備)委嘱。

IV ボランティア活動の推進

① 施設の利用状況

ボランティア団体等の会議開催等のために会場の無料提供を実施。年間1,401回、延べ10,532人利用。

② 点字くらしき・声の広報作成

点字広報くらしき624部、声の広報845回作成。

③ 貸出物品

点字盤、高齢者疑似体験セット等年間84件貸出。

④ 養成講座の開催

- (ア) 技術ボランティアの養成を目的とした講座
7講座111人受講。
- (イ) ボランティア活動のスキルアップ講座
ガイドヘルプボランティア養成講座、15名参加。
- (ウ) 障がい者のための各種生活訓練事業
生け花 10回開催、延べ43人参加。
おもしろ工作 10回開催、延べ14人参加。

⑤ 福祉サービス銀行

ボランティア登録の受付と活動先の紹介、コーディネーター等を実施。

社協マークの由来



社会福祉協議会の「社」を図案化したもので、「手を取りあって明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。昭和47年6月に全国社会福祉協議会が作成しました。社協では、明るいしあわせな社会づくりを目指し、地域福祉活動を推進しています。

Pick Up事業『地区社会福祉協議会の設立』

まだ設立されていない小学校区での地区社会福祉協議会設立の支援をします。

地域における福祉推進の中核組織として、あなたの地区でも設立に取り組みませんか？

問 社協各事務所へ



Pick Up事業『貸出物品』

福祉教育促進を目的に各種学校、団体に福祉教育教材の貸出を行っていますのでご利用ください。
(指導者の派遣も行っています)

貸出物品保有台数一覧



点字盤	178台
高齢者疑似体験セット	15セット
アイマスク	178枚
車椅子模擬版	6台
プレクストーク	5台

問 倉敷ボランティアセンターへ

登録者数	問い合わせ件数	実活動数
5,105人	345人	314人

⑥ 児童・生徒のボランティア活動普及事業

(ア) 出前福祉講座

51回（小学校33回、中学校7回、高校7回、その他4回）実施。延べ4,399人受講。

(イ) 夏のボランティア体験事業

夏休み期間に保育園、福祉施設、ボランティアグループ等でボランティア活動を体験する。1,342人参加

⑦ ボランティア保険の普及

ボランティア活動保険15,363人、行事用保険22,687人加入。

V 在宅福祉事業

① 要介護者の組織化

倉敷、水島、児島、玉島、船穂において介護者の会を設立。

② 福祉機器の貸出

在宅の要介護者に対して、寄付していただいた車椅子・介護ベッドを無償で貸出しています。

車椅子：年間934件 介護ベッド：年間102件

③ 福祉車両の貸出

在宅の要介護者等に対して、福祉車両を無償で貸出しています。（※ガソリン代は実費負担）年間340回、延べ621日貸出。

④ 介護機器・介護用品リサイクル事業

年間登録数13件。

⑤ 高齢者等心配ごと相談所

5相談所で延べ240日開催し、430件相談。（本紙P 12参照）

⑥ 住民参加型在宅支援サービス

利用会員と協力会員の会員同士の支え合い・助け合いの有償活動を実施しています。活動実績584時間。

⑦ 日常生活自立支援事業

認知症高齢者や障がい者の方が、地域で安心して生活が送れるように、相談の受付、福祉サービスの利用手続きのお手伝いや日常生活に必要な金銭管理のお手伝いなどをします。

契約件数69人、相談件数476件。

⑧ 友愛訪問の実施

概ね65歳以上在宅独居高齢者等の家を訪問。

対象者数 5,059人。

⑨ **ね** たきり高齢者等介護者リフレッシュ事業＜受託事業＞

在宅で介護している方を対象に、日頃の悩みやストレスの解消を目的に日帰り旅行等のリフレッシュ事業を実施。

7回（全市で1回、地区で6回）開催し延べ187人参加

Pick Up事業『ボランティア保険の普及』

ボランティア活動中のケガや賠償責任の補償のための保険として、『ボランティア活動保険』及び『ボランティア行事用保険』の普及を行っています。加入希望の方はお問い合わせください。

また、ボランティアセンター登録団体には、掛金の半額補助もあります。



【活動保険】

4タイプあり、掛金は一人280円～720円

【行事用保険】

2プランあり、掛金は一人28円～415円

問 倉敷ボランティアセンター
社協各事務所へ

Pick Up事業『介護機器・介護用品リサイクル事業』

この事業では、家庭で必要のなくなった介護機器や用品を、必要な方へお譲り頂くための情報をつなぐことを行っています。

ご家庭で不要になった介護機器や用品はございませんか？ぜひ、必要とされている方への無償提供をお願いいたします。



問 社協各事務所へ

車イスが2台乗車できる
福祉車両が9月に倉敷市
から配備されました。
皆様のご利用をお待ちし
ております。



貸出用福祉車両

Pick Up事業『住民参加型在宅支援サービス』

現在、困られている方（利用会員）のお手伝いをしていただく協力会員が不足しています。何かお手伝いしてみようという方、ぜひご協力ください。

利用会員とあわせて会員を募集しておりますので、みなさんの登録をお願いいたします。



問 社協各事務所へ

- ⑩ 高齢者等給食サービス＜受託事業＞
1食350円で市との契約業者が配食。
延べ237,876食。



Ⅵその他の事業

- ① 高齢者支援センターとの連携
小地域ケア会議へ参加。45小学校区延べ202回参加。
- ② 社協だよりの発行
年間2回広報紙「社協だより」を発行。299,000部。
- ③ 福祉講座の開催
年間4地区延べ6回開催し、1,444人参加。
- ④ 団体への支援（助成）
児童福祉関係2団体、老人福祉関係6団体、障がい者福祉関係6団体、父子母子福祉関係1団体
- ⑤ 100歳祝い金支給事業
100歳になられた82名の長寿者にお祝い金を贈呈。

- ⑥ 災害見舞
火災や災害等で全焼・全壊、半焼されたご家庭へお見舞金を支給。

全焼・全壊	19件
半焼	8件

- ⑦ 行路人旅費支給（平成22年度から市が実施）…335件
- ⑧ 赤い羽根共同募金運動
実績額60,937,394円
配分額39,312,582円（内、平成20年度実績分30,490,000円）

- ⑨ 歳末たすけあい運動
実績額20,804,809円
配分状況

	在宅ねたきり者	75歳以上独居老人
配分者数	901人	5,598人

- ⑩ 生活福祉資金貸付事業
相談件数563件、申請件数87件、貸付決定件数67件。
- ⑪ 障がい児を囲む親子ふれあい事業＜市受託事業＞
ヒルゼン高原センターにて雪遊びを実施し235名参加。
- ⑫ 福祉の店「あゆみ」の運営（イオンモール倉敷 2階）
ボランティア動員数延べ1,190人。
- ⑬ 介護保険関連事業（本紙P 10参照）
- ⑭ 倉敷結婚相談所事業（本紙P 10参照）
倉敷市内に住所又は勤務先を有する方等を対象に、結婚相談に応じ、適切な指導、斡旋を実施。

見合	交際	成立	利用者	総登録者	来所者
936組	260組	25組	25,737人	2,130人	7,643人

Pick Up事業『赤い羽根共同募金』及び『歳末たすけあい募金』

毎年、10月1日から全国一斉に『赤い羽根共同募金』運動を展開しています。

また、12月1日から12月31日の期間は、『歳末たすけあい運動』を実施しています。

地域での福祉活動や、施設・団体等への支援や地域でお困りの方への支援のために、募金への協力をお願いいたします。

問 社協各事務所へ



今年もご協力
お願いします。

Pick Up事業『生活福祉資金貸付事業』

この貸付制度は、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立や生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

（資金種類）

- ①総合支援資金
- ②教育支援資金
- ③福祉資金
- ④不動産担保型生活資金

問 社協各事務所へ



みんなで
楽しく雪遊び



障がい児を囲む
親子ふれあい事業